

事業計画書

令和4年度において、地政的紛争に伴う燃料や食料品等の諸物価高騰から施設運営の重圧になっているところに、令和4年11月の特別養護老人ホームちのみの杜、年明の1月には養護老人ホームちのみの郷が相次いで新型コロナウイルス感染症クラスターに見舞われたことから、法人全体の運営に重大な影響をもたらし、特に特別養護老人ホームいたっては利用者の減少、更には職員の減少も進み、運営的に非常に困難な状況に陥っております。

令和5年度においては、両施設のこのような状況の抜本的な経営改善のため、早急に行政機関への支援要請をおこなうとともに、状況に準じた運営形態を関係機関と検討しつつ、基本理念や基本方針を念頭に置き経費節減、感染症予防等、利用者様の健康状況を考慮しながら、可能な限りのサービスの提供に努めて参ります。

1 事業計画

法人は、次の事項等によって事業を推進していきます。

(1) 運営する事業及び運営方針

ア、養護老人ホームの運営

① 養護老人ホームちのみの郷

老人福祉法及び法人の掲げた理念に基づき、またはそれに添った運営を行い、利用者様が健康で明るく生きがいのある生活ができるよう努めます。

② 養護老人ホームちのみの郷指定特定施設入居者生活介護事業

身体介護又は生活援助のサービスが必要になった利用者様の意向を尊重したサービス計画を立て、それに基づき、日常生活における必要なサービスを提供してまいります。

③ 施設設備の改修計画

平成8年の改築からの経年とともに施設設備の老朽化が進行しているが、自然災害時における付帯設備の損傷が見込まれ、最低限の日常生活に影響を及ぼす設備の改善計画を図ります。

イ、特別養護老人ホームの運営

① 特別養護老人ホームちのみの杜

施設利用者様の人格や意思を尊重し、介護福祉の立場に立ったサービスの提供を行い、日常生活が十分に満足していただけるように努めてまいりますとともに、コロナ対策を徹底し感染予防に努めます。

② ちのみの杜短期入所生活介護事業

要介護利用者様に対し、日常生活が営められるよう、身体介護や生活援助等を行い、利用者様の心身機能の維持並びに御家族の負担の軽減が図れるよう努めるとともに、関係各機関との連携、推進にも配慮してまいります。

③ 昭和54年開設以来44年経過し、施設の老朽化は著しい状況ではありますが、財

源の枯渇により全面的修繕が不可能なことから、小規模な修繕に対応してまいります。

- ④ 令和4年に発生した新型コロナウイルス感染症クラスター（第1波 R4年10月30日～11月29日。第2波12月30日～1月14日）により入所者33名、職員21名が感染しました。このことが施設運営に及ぼした影響は甚大なものがあり、行政機関等への支援を要望してまいります。

(2) 施設等の入所・利用定員

ア、養護老人ホーム

- ① 養護老人ホームちのみの郷 75名 ショートステイ 2名
 ② 養護老人ホームちのみの郷指定特定施設入居者生活介護事業所 34名

イ、特別養護老人ホーム

- ① 特別養護老人ホームちのみの杜 50名
 ② ちのみの杜短期入所生活介護事業所 8名

(3) 施設等の職員の職種・職名及び数

	養護老人ホーム					特別養護老人ホーム					合 計				
	常勤		非 常 勤	派 遣	計	常勤		非 常 勤	派 遣	計	常勤		非 常 勤	派 遣	計
	正 規	嘱 託				正 規	嘱 託				正 規	嘱 託			
施設長		1			1		1			1		2			2
事務長		1			1		1			1		2			2
事務員		1			1		1			1		2			2
生活相談員	3				3	1				1	4				4
介護支援専門員	1				1	1				1	2				2
栄養士	1				1	1				1	2				2
看護職員	3				3			2	2	4	3		2	2	7
介護・支援員	11	2	6		19	10	3	1		14	21	5	7		33
介助員			4		4		1			1		1	4		5
調理員		5	1		6		5			5		10	1		11
用務員		1			1		1			1		2			2
計	19	11	11		41	13	13	3	2	31	32	24	14	2	72

※数は、4月1日の職員数となります。

(4) 利用者様の生活相談・支援

① 利用者様の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、利用者様又は家族に対し、適切な相談、助言を行うとともに、必要な支援を今後も行っていきます。

② 養護老人ホームにおいては、利用者様がお互いにいたわり合い、他人に迷惑をかけるなど、思いやりのある人間関係で楽しく充実した生活ができるよう支援します。

また、特別養護老人ホームでは、利用者様がお互いに尊重しあい、毎日が元気で明るく生活できる環境作りに誠意を持って努めます。

③ 「自分で出来ることは自分でする。」を生活の基本に、利用者様の適正に応じたクラブ・行事等への参加を促し、融和をはかりながら生きがいづくりを支援します。

(5) 健康管理

① 養護老人ホームは健康維持の増進として毎朝のラジオ体操、その後の軽い歩行訓練の実施、更にリハビリ体操の継続をしていきます。

特別養護老人ホームにおいても、健康維持の増進に努めるとともに、感染症予防対策を充実してまいります。

② 週一回の日赤病院医師による往診、毎月の血圧・体重測定、養護老人ホームにおいては年二回の健康診断の実施を行い、利用者様の健康管理を図っていきます。

③ うがい・手洗いの励行、毎日の施設内の換気・消毒の実施、インフルエンザの予防接種、更に入浴・洗濯・清掃など衛生面などに配慮した援助を行い、感染症等の予防に努めていきます。

(6) 施設等の行事

① 一大行事等（家族へ出欠の周知）

・観桜会（5月） 家族会総会の後に行います。

・夏まつり（7月） 午後縁日、夕刻ピヤガーデン、近隣2自治会に案内します

※特別養護老人ホームは8月に行い、縁日のみです

・敬老会（9月） 式典・祝賀会

100歳記念品 法人、家族会

白寿記念品 法人

米寿記念品 浦河町

喜寿記念品 浦河町

※ その他、新年会なども計画されています。

② 季節に応じた行事

・バスハイク（桜、紅葉見学） ・盆、彼岸供養会（年3回） ・かき氷の会

・豆まき ・ひな祭り など

③ 定期または2ヶ月毎の行事

・ショッピング ・大相撲星とり大会 ・ビデオ鑑賞会

・クラブ活動（ゲーム、手芸、カラオケなど） など

- ④ 毎月の行事
 - ・誕生会 ・散髪・美容室 など
 - ⑤ 慰問等の行事
 - ・町民吹奏楽団 ・幼稚園 ・老人クラブ ・民謡、踊りなど
 - ⑥ 会議に関する行事
 - 入所者関係
 - ・生活懇談会（毎月）
 - 施設等関係
 - ・年4回 ・全体会議（研修会）
 - ・毎月 ・感染症対策委員会 ・身体拘束委員会 ・施設運営会議
 - ・入所者処遇会議 ・事故発生防止対策委員 ・給食運営会議
 - ・給食会議
- ※②～⑥までは養護老人ホーム又は特別養護老人ホームそれぞれに行っているもの
行っていないものがあります。
- ※コロナ禍により行事の縮小、あるいは実施出来ないこともあります。

(7) 防災計画

- ・避難訓練（火災 年2回、自然災害 年2回）
- ・組織
 - ・自衛消防責任組織（点検、予防に関する業務分担）
 - ・自衛消防組織（発生時の業務分担）

(8) 職員研修

職種別研修会・講習会などへ参加し、職場研修にも取り組んでいきます。

2 役員運営

(1) 役員の数

理事	7名
評議員	8名
監事	2名

(2) 理事会・評議員会の開催計画

- ・3月下旬 新年度の事業報告書及び収支予算書の審議
- ・6月上旬 前年度の事業報告書及び収支決算書の審議
- ・その他 懸案事項等必要に応じて随時開催

(3) 監事監査の開催計画

- ・定例監査 年3回 8月、11月、2月
- ・決算監査 5月中旬

3 予算の執行

令和5年度の事業の運営（法人本部は除く）は、次によって行います。

・事業活動収支

(単位：千円)

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	468,369	△14,685	253,906	499	214,463	△15,184
支出	480,021	△28,719	250,624	△7,474	229,397	△21,245
収支差額	△11,652	14,034	3,282	7,973	△14,934	6,061

・施設整備等収支

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	2,382	1,742	2,062	1,742	320	0
支出	4,189	2,051	3,485	2,051	704	0
収支差額	△1,807	△309	△1,423	△309	△384	0

・その他の活動収支

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
収入	700	700	700	700	0	0
支出	1,500	△5,004	880	0	620	△5,004
収支差額	△800	5,704	△180	700	△620	5,004

・当期資金収支差額

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	△14,259	△19,429	1,679	△8,364	△15,938	△11,065

・前期末支払資金残高

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	43,177	△22,326	11,964	△8,698	31,213	△13,628

・当期末支払資金残高

	予算額	前年比	養護	前年比	特養	前年比
	28,918	△2,897	13,643	△334	15,275	△2,563

※法人本部の部分は含まれていません。

以上の予算を以って執行いたします。

内訳等は、予算書のとおりとなっています。

資金収支予算書

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

社会福祉法人 浦河愛生会

(単位:千円)

勘定科目		本年予算額 (A)	前年予算額 (B)	差異 (A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	295,647	309,860	△ 14,213	
		老人福祉事業収入	163,456	163,557	△ 101	
		経常経費寄附金収入	200	200		
		借入金利息補助金収入				
		受取利息配当金収入				
		その他の収入	9,066	9,437	△ 371	
	事業活動収入 計 (1)		468,369	483,054	△ 14,685	
	支出	人件費支出	315,814	348,506	△ 32,692	
		事業費支出	124,141	120,476	3,665	
		事務費支出	40,963	40,880	83	
支払利息支出		662	366	296		
事業活動支出 計 (2)		481,580	510,228	△ 28,648		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 13,211	△ 27,174	13,963		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	2,382	640	1,742	
		施設整備等寄附金収入				
		施設整備等収入 計 (4)	2,382	640	1,742	
	支出	固定資産取得支出	3,459	1,408	2,051	
		固定資産除却・廃棄支出				
		ファイナンス・リース債務の返済支出	730	730		
施設整備等支出 計 (5)		4,189	2,138	2,051		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 1,807	△ 1,498	△ 309		
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金収入				
		積立資産取崩収入	700		700	
		その他の活動収入 計 (7)	700		700	
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出		5,004	△ 5,004	
		積立資産支出	200	200		
		その他の活動支出 計 (8)	200	5,204	△ 5,004	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		500	△ 5,204	5,704		
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		△ 14,518	△ 33,876	19,358		
前期末支払資金残高 (11)		43,468	65,794	△ 22,326		
当期末支払資金残高 (10)+(11)		28,950	31,918	△ 2,968		

社会福祉事業区分 資金収支予算内訳表
(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月31日

社会福祉法人 浦河愛生会

(単位:千円)

勘定科目		法人本部 拠点	養護老人 ホームちの みの郷拠点	特別養護老 人ホームちの みの杜拠点	合計	内部取引 消去	事業区分 合計
事業活動による収支	収入						
	介護保険事業収入		90,070	205,577	295,647		295,647
	老人福祉事業収入		163,316	140	163,456		163,456
	経常経費寄附金収入		100	100	200		200
	借入金利息補助金収入						
	受取利息配当金収入						
	その他の収入		420	8,646	9,066		9,066
	事業活動収入 計 (1)		253,906	214,463	468,369		468,369
	支出						
	人件費支出	480	161,680	153,654	315,814		315,814
	事業費支出		72,269	51,872	124,141		124,141
事務費支出	1,079	16,533	23,351	40,963		40,963	
支払利息支出		142	520	662		662	
事業活動支出 計 (2)	1,559	250,624	229,397	481,580		481,580	
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	△ 1,559	3,282	△ 14,934	△ 13,211		△ 13,211	
施設整備等による収支	収入						
	施設整備等補助金収入		2,062	320	2,382		2,382
	施設整備等寄附金収入						
	施設整備等収入 計 (4)		2,062	320	2,382		2,382
	支出						
	固定資産取得支出		2,755	704	3,459		3,459
	固定資産除却・廃棄支出						
ファイナンス・リース債務の返済支出		730		730		730	
施設整備等支出 計 (5)		3,485	704	4,189		4,189	
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		△ 1,423	△ 384	△ 1,807		△ 1,807	
その他の活動による収支	収入						
	長期運営資金借入金収入						
	積立資産取崩収入		700		700		700
	拠点区分間繰入金収入	1,300			1,300	1,300	
	その他の活動収入 計 (7)	1,300	700		2,000	1,300	700
	支出						
	長期運営資金借入金元金償還支出						
	積立資産支出		100	100	200		200
拠点区分間繰入金支出		780	520	1,300	1,300		
その他の活動支出 計 (8)		880	620	1,500	1,300	200	
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	1,300	△ 180	△ 620	500		500	
当期資金収支差額合計(10) = (3) + (6) + (9)	△ 259	1,679	△ 15,938	△ 14,518		△ 14,518	
前期末支払資金残高 (11)	291	11,964	31,213	43,468		43,468	
当期末支払資金残高 (10) + (11)	32	13,643	15,275	28,950		28,950	